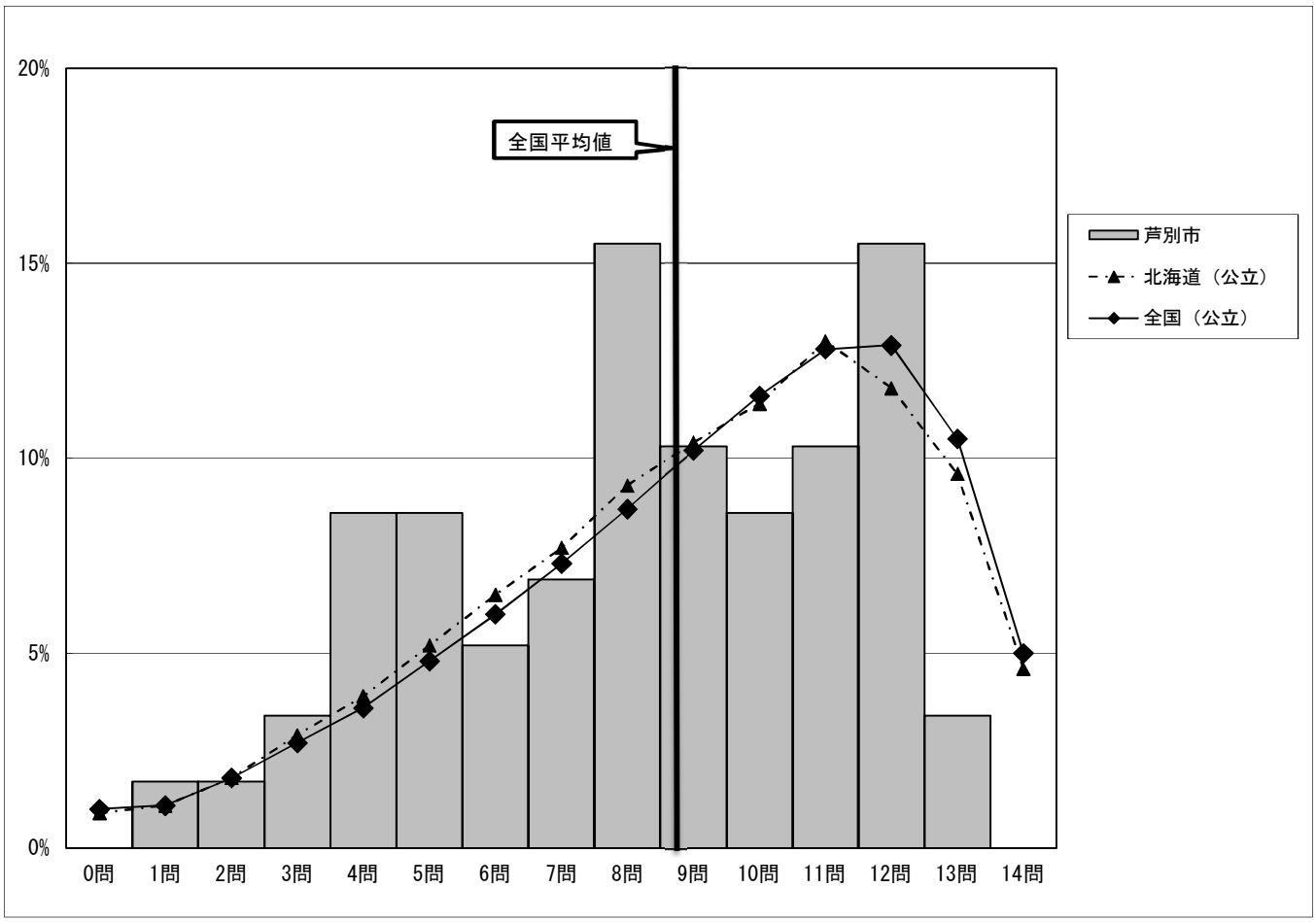
３ 芦別市の正答数の状況（小学校）

下のグラフは、正答した問題数ごとの児童の割合を表したもので、棒グラフは芦別市の分布状況を示しています。

⑴ 国語の正答数の状況

芦別市の小学６年生の国語（下図）の調査結果からは、分布の山が上位層、中位層、下位層と３カ所あり、中位層と下位層の底上げが必要だと考えます。

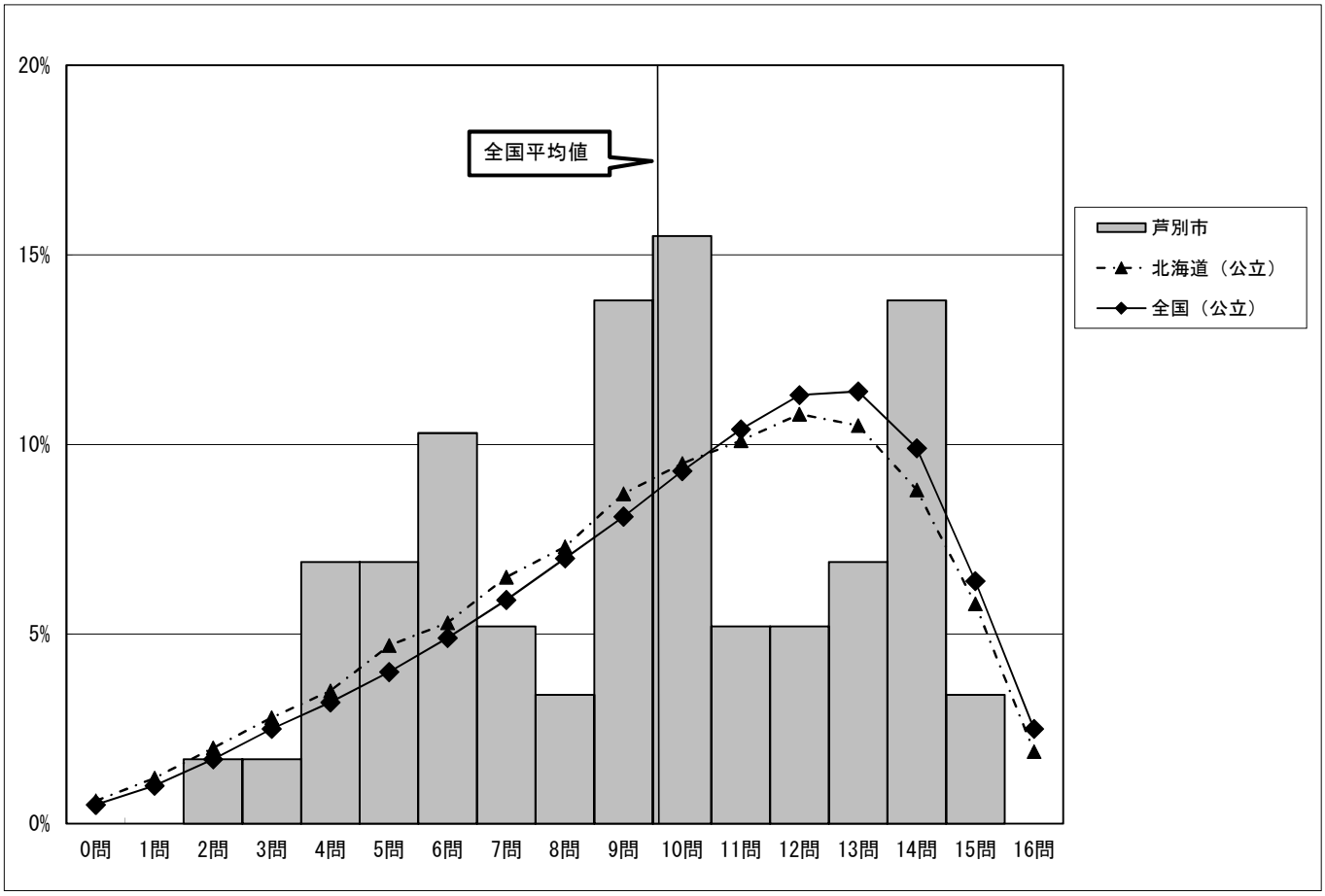
正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



⑵　算数の正答数の状況

芦別市の小学６年生の算数（下図）の調査結果からは、分布の山が上位層、中位層、下位層と３カ所あり、中位層と下位層の底上げが必要だと考えます。

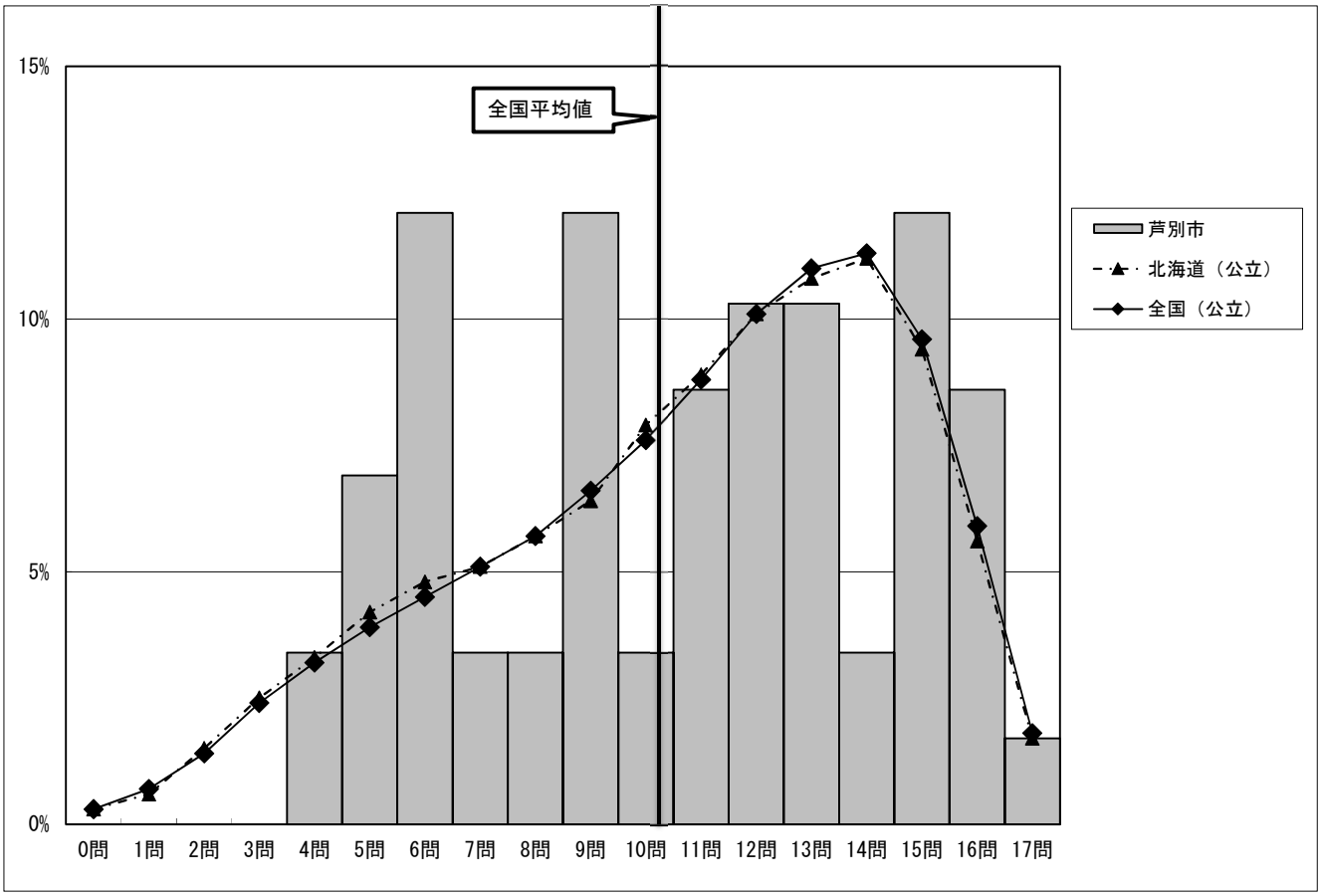
正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



⑶　理科の正答数の状況

芦別市の小学６年生の理科（下図）の調査結果からは、全国平均より下に２つの山があります。この下位層の底上げが必要だと考えます。

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



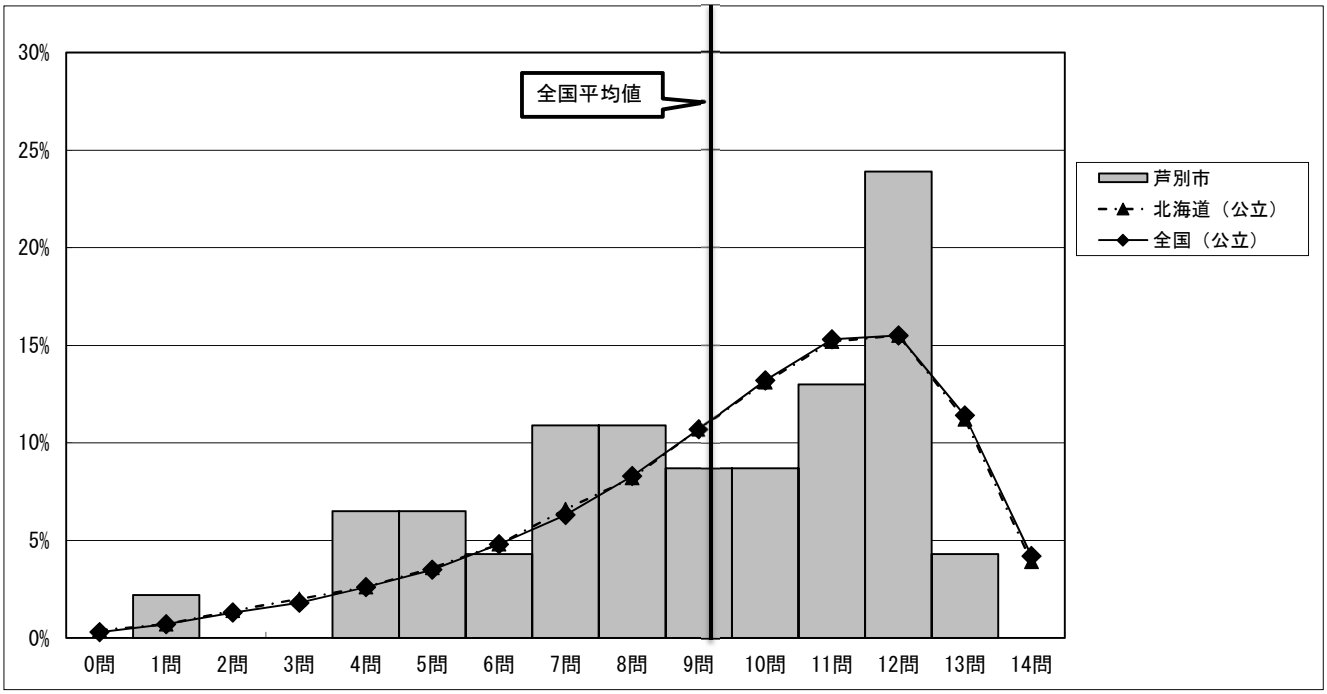
４　芦別市の正答数の状況（中学校）

下のグラフは、正答した問題数ごとの生徒の割合を表したもので、棒グラフは芦別市の分布状況を示しています。

⑴　国語の正答数の状況

芦別市の中学３年生の国語（下図）の調査結果からは、全国平均値よりも右側にピークがあるものの、全国平均値より左側の層も多く、この層の底上げが必要だと考えます。

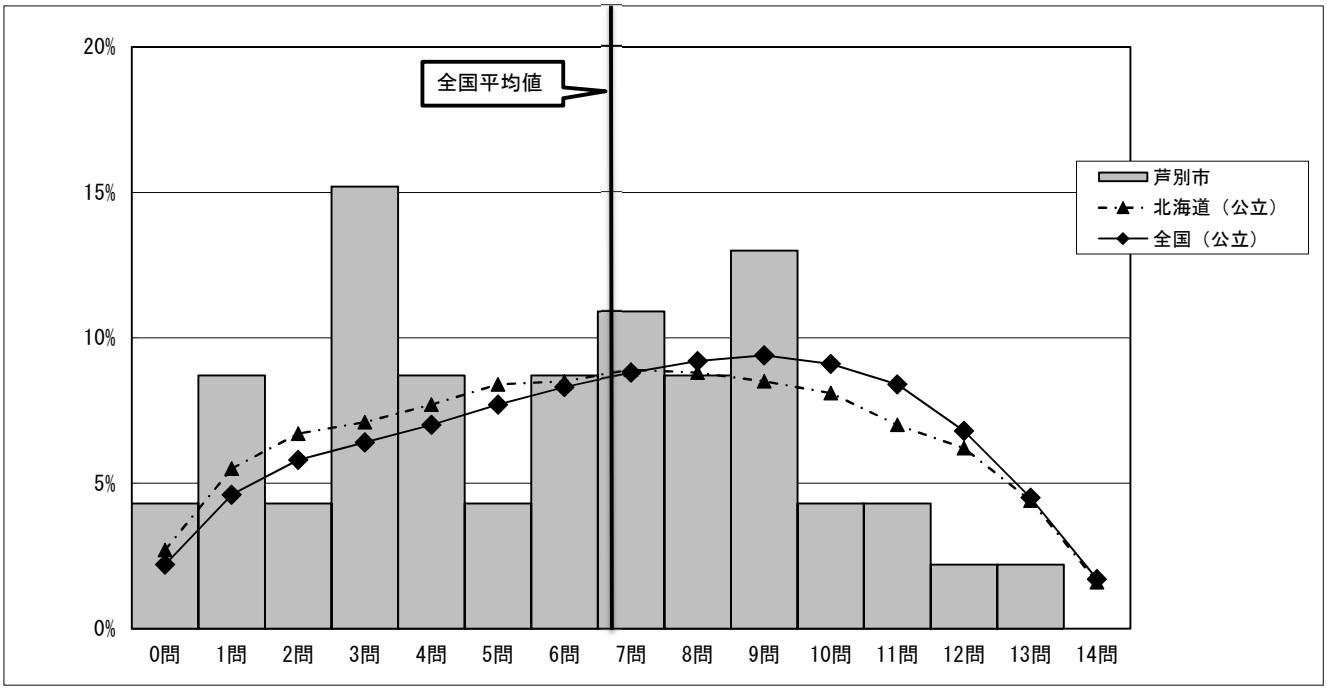
正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



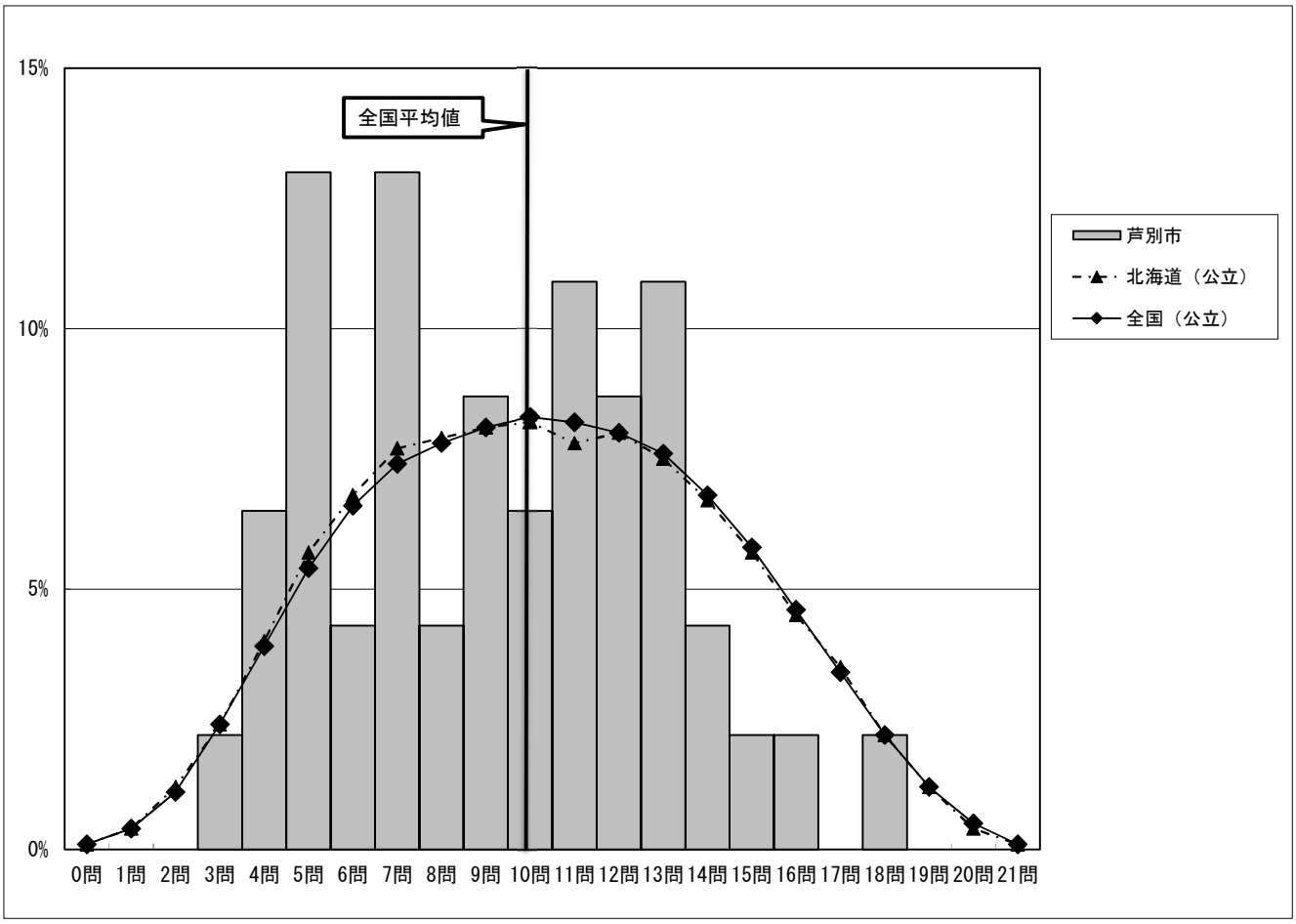
⑵　数学の正答数の状況

芦別市の中学３年生の数学（下図）の調査結果からは、全国平均値よりやや高い層と低い層に分かれた二極化になっていますが、下位層に占める割合の方がやや多くなっていることがわかります。

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



⑶　理科の正答数の状況

芦別市の中学３年生の理科（下図）の調査結果からは、全国平均値よりやや高い層と低い層に分かれた二極化になっていますが、下位層に占める割合の方がやや多くなっていることがわかります。

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）